

今月のテーマ

ウポポイ5周年

村木美幸 (アイヌ民族文化財団副理事長)

アイヌ文化のことをもっともっと話したい!
本田優子と村木美幸の二人が、その魅力を交代で
執筆するソンコ(=お便り)形式のエッセイです。



〇二〇年に開園したウアイヌコロタン民族共
生象徴空間(愛称「ウポポイ」)が今月、開園五
周年を迎えます。この間、多くの皆様がウポポイに足を
運んでくださいました。ウポポイで働く私からも感謝申
し上げます。イイライケレ(ありがとございます)!

ウポポイはアイヌの歴史、文化を学び伝えるナシヨナ
ルセンターとして、アイヌ語をは
じめとするアイヌ文化を伝承、
共有するとともに、互いに尊重
し、共生する社会のシンボルと
して位置付けられています。令
和元年に施行された「アイヌ施
策推進法」にも、「…誇りが尊重
される社会の実現を図り、もっ
て全ての国民が相互に人格と個
性を尊重し合いながら共生する
社会の実現に資することを目的
とする。」とあるように、ウポポ
イが共生社会について考える
きっかけの場となるよう活動してい

きます。

四月に開幕した大阪・関西万博でも、アイヌ工芸品展
「イランカラプテ」アイヌ文化をウポポイから」を開催、
EXPOホールでは「ウレシバ モシリ(育てあう大地)」と
題し、アイヌ舞踊公演を実施。道内外に暮らす約三〇
人が出演しての大群舞は圧巻でした。EXPOのテーマ



イラスト/山丸ケニ

「いのち輝く未来社会」では、「…互いの多様性を認める」
と、他者への共感を育み、多様な文化を考え尊重しあう
ことにより、共にこの世界を生きてゆく。社会のあり方
を共創する万博とのメッセージが。まさにウポポイの
アイヌ語名称でもある「ウアイヌコロ(尊敬し合う)」考え
です。ウポポイでは昨年、個人や民族の尊厳を損なう差
別や嫌がらせなどの「レイシヤル
ハラスメント」を許しません!と
いう「ウアイヌコロ宣言」を表明し、
多様な価値観について考えるきう
かけとしました。また、道内外の
高校十四校、七八人が参加して
オンラインやウポポイでの学び体
験をとおして、互いを認め合いな
がら暮らす共生社会について話し
合う「ウアイヌコロ会議」を開催。
未来を担う若者からのさまざま
な考えや提案が共有された、良
い機会となりました。

ウポポイ五周年を記念した「ウポポイ祭」を開催しま
す。今回は芸能や食をテーマに江差追分とのコラボな
ど、芸能の魅力をたっぷり紹介する他、江差の郷土料
理を堪能できるなど、五感で楽しむ体験が満載です。一
緒に歌って、踊って、食べて、笑って、感じて、考える…、そ
んな時間をウポポイで共有しませんか?



次回のテーマは「トマ／キナ(ごぞ)」
本田優子(札幌大学教授)が担当します。



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

JR白老駅から徒歩約10分



ウポポイPRキャラクター
「トラレップン」

■本田優子(ほんだゆうこ):金沢市生まれ。札幌大学教授。北大卒業後11年間平取町二風谷に住み、アイヌ語講師を務める。
■村木美幸(むらきみゆき):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団副理事長。先住民族アイヌの一員として文化継承活動に努める。
■山丸ケニ(やままるけに):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団職員。ウポポイでアイヌ語体験プログラムを担当する。



イランカラプテ
「こんにちほ」からはじめよう。